

# 国際政治

213

## アメリカ

### ——対外政策の変容と国際秩序——

日本国際政治学会編

序章 アメリカの対外政策の変容と国際秩序	西山 隆行
アメリカ外交の長期的展開・変容と国際秩序	佐々木 卓也
「リベラルな国際主義」の変容と新冷戦 2.0	西田 竜也
内側から侵食される「リベラルな国際秩序」	三牧 聖子
境界線に投影される国際秩序の二面性	大津留（北川）智恵子
トランプ・バイデン政権の対中半導体紛争	大矢根 聡
二つの「一つの世界」	三島 武之介
なぜ米国はイラクに侵攻したのか？	溝渕 正季
<hr/>	
ASEANのミャンマー問題への対応	渡辺 理子
<hr/>	
<書評論文>	
植民地独立と国連平和維持活動の起源から見えるもの	山田 哲也
デジタルシルクロードは中国的価値観の 普及・拡大ツールとして機能しているか	伊藤 和歌子
湾岸アラブ諸国研究の新潮流は生まれるか	松尾 昌樹
<hr/>	
<書評>	
土屋由香著 『文化冷戦と科学技術』	武田 悠
谷一巳著 『帝国とヨーロッパのあいだで』	後藤 春美
五百旗頭真監修、井上正也・上西朗夫・長瀬要石著 『評伝福田赳夫』	若月 秀和

2024年3月刊